

5/31 木曜

## 維新 また人権軽視発言

日本維新の会の議員による人権軽視発言が続いている。同党の鈴木宗男議員は30日の参院法務委員会で、入管法改悪案をめぐり、「トータルで考えて何をもって国益かという観点が一番だ」「国益なくして人権もない」などと発言しました。

鈴木氏は、「人権といえば善だ、国益といえば一歩下がれみたいな議論は通らない」と持論を展開。他覚議員から批判されると、「信念を持つて言っている」「あなたの何十倍も政治家をやってきている」と叫びました。

さらに鈴木氏は、法案審議をめぐり野党議員が街頭で自身や高齢健法相を批判する演

説を行っているとして、「私は私の主張があつていいわけだから、それについて怒りを込めて発言する演説は論外だ」と主張。「斎藤大臣は眞面目に答弁している。批判はいいことではない」とまで述べ、政権擁護の姿勢を示しました。

維新はこの間、入管施設でスリランカ人ウイシュマ・サンタマリさんが死亡した問題をめぐり、梅村みずほ参院議員の発言が事実に基づかないデマであり市民の人権を踏みにじるものだと批判を受けたばかり。全く反対なく人権軽視の裏書きを繰り返す維新に、国政政党としての資格があるのかが問われます。